

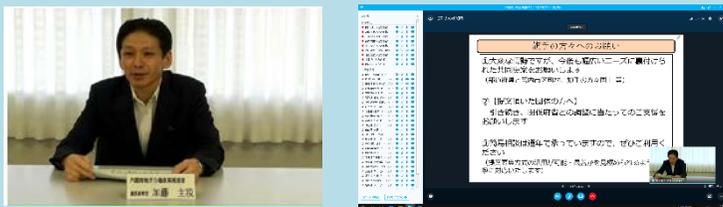
地方分権改革の旗手会議（令和2年度第一回）の概要

【日 時】 令和2年8月28日（金）13:30~16:00
【開催方法】 オンライン開催
【参加者】 全体講義：28名
 グループディスカッション：25名

コロナ感染拡大防止の観点から、初のオンライン開催となりました。会議は、全体講義（内閣府からの説明）とグループディスカッションの2部構成とし、グループディスカッションでは、旗手同士及び内閣府職員とで活発な意見交換・議論を行うことができました。

●地方分権改革推進室からの説明

令和2年提案募集の状況、最近の地方支援の取組み及びコロナ禍におけるリモート形式による研修の実施などについて説明しました。また、提案募集に係る地方公共団体の独自の取組についてご紹介しました。



【講義を行う加藤参事官と実際の画面】

●グループディスカッションでの参加者の声

＜①新しい日常における行政サービス向上、改善のための提案について＞

人との接触を避けるために、申請手続き等のオンライン化やデジタル化の推進に向けた取組が必要。

＜②コロナ禍で感じた地方公共団体における自身の業務の在り方について＞

税の調査業務において、運用面で議論はあると思うが、課税対象物件に赴いて調査していたところを、図面データの活用や電話確認により効率化させている。

＜③リモート研修の導入・実施の検討について＞

グループワークも参加者をグループ分けして議論してもらった上で、各グループの案を持ち寄って代表者が議論する形でオンライン開催を行うというのも1案。

＜④共同提案に向けた他団体との連携について＞

県と連携を図り、取り組みそうなものを抽出し共同提案として調整している。信頼関係構築のためにも、事前相談の段階で、今回のような分権担当者が顔を合わせる機会を設けてはどうか。

●グループディスカッション

5名ごとのグループに分かれ、4つのテーマについて意見交換を行いました。（1グループ＝2テーマずつ）



【グループディスカッションの様子】

	テーマ
①	新しい日常における行政サービス向上、改善のための提案について
②	コロナ禍で感じた地方公共団体における自身の業務の在り方について
③	リモート研修の導入・実施の検討について
④	共同提案に向けた他団体との連携について

【参加者の声】

- WEBで資料が表示され説明もわかりやすかった。
- 他県の庁内周知文書など、具体的な取組を知ることができた。
- SkypeによるWeb会議は初めての経験だったが、グループディスカッションも滞りなく実施できた。今後の旗手会議においてもWeb会議を一つの選択肢にしてよいのではないかと感じた。
- 新型コロナウイルス感染症で出張が難しいが今回はオンライン開催で参加することができ良かった。会議も対面開催と変わらず傍聴できた。

○会議全体の評価（令和2年度第一回旗手会議参加者アンケート結果）
28名中22名回答

回答内容	回答数	構成比
よかった	15	(68.2%)
どちらかといえばよかった	7	(31.8%)
無回答	0	(0.0%)
計	22	(100.0%)